

2022年8月15日

2023年3月期 第1四半期決算のお知らせ

あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：工藤英人）の2023年3月期第1四半期決算（日本基準・連結）は以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期の第1四半期連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,355	△22.7	2,352	△22.6	△117	-	△97	-	△48	-
2022年3月期第1四半期	3,046	48.4	3,038	48.7	186	△12.4	201	△5.0	142	△2.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第1四半期		△1.23		-
2022年3月期第1四半期		3.62		-

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	25,200	6,369	25.2	161.02
2022年3月期	23,392	6,418	27.4	162.25

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 6,360百万円 2022年3月期 6,409百万円

2. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

当社グループの主たる事業である金融商品取引業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、連結業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	39,500,791株	2022年3月期	39,500,791株
2023年3月期1Q	—	2022年3月期	—
2023年3月期1Q	39,500,791株	2022年3月期1Q	39,500,791株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益 計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり情報)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足資料	9
(1) 連結損益計算書の四半期推移	9
(2) 預り資産	9

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）における我が国の景気は、企業が新型コロナウイルス感染症へ柔軟な対応を進めることで経済活動の持ち直しが進んできたものの、感染症再拡大のリスクやロシアによるウクライナ軍事侵攻が世界経済に与えるリスクもあり予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、戦略的に推進している金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関とのアライアンスの強化を推進しました。IFAビジネスでは、契約外務員による顧客サポートの更なる充実に寄与すべく、顧客管理システムの機能充実を図っています。取引利便性向上のために昨年導入した、営業員による株式・投資信託等のモバイル端末からの取引発注システムも認知が進み、取引量の増加が見られました。こうした取り組みとともに、強みとする対面サポート力のさらなる強化を進めており、結果として、2022年6月末の契約仲介業者外務員数は1,239名（2022年3月末比+54名）、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社（金融商品仲介業者）の提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は3,797億円（同+8億円）、この内、IFA部門の預り資産残高は1,922億円（同+88億円）と拡大しております。

金融機関とのアライアンス強化については、2022年4月に関信用金庫および芝信用金庫の2社と顧客紹介に関する業務提携契約を締結しております。今後も金融機関とのアライアンスの強化を推進し、顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大を進めて参ります。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は2,355百万円、（前期比77.3%）、純営業収益は2,352百万円（同77.4%）、販売費・一般管理費は2,470百万円（同86.6%）、営業利益は△117百万円（前期黒字）と株式・投資信託等の受入手数料が増加した半面、債券のトレーディング損益が減少したため、前期比で減収・減益となりました。

主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

【受入手数料】

受入手数料の合計は716百万円となりました。科目別の内訳は以下のとおりです。

[委託手数料]

委託手数料は、株式現物取引、株式信用取引を中心に488百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に147百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に80百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、債券の販売を中心に1,627百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は11百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は8百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費は2,470百万円となりました。主な内訳は取引関係費1,560百万円、人件費597百万円、事務費137百万円、不動産関係費116百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,807百万円増加し25,200百万円となりました。これは、預託金が1,498百万円、約定見返勘定が594百万円増加したこと等によるものです。

[負債]

当第1四半期連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,856百万円増加し18,830百万円となりました。これは、預り金が2,968百万円増加、信用取引負債が771百万円、短期借入金が500百万円減少したこと等によるものです。

[純資産]

当第1四半期連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて48百万円減少し、6,369百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	4,579	4,487
預託金	13,182	14,680
トレーディング商品	435	36
約定見返勘定	55	650
信用取引資産	2,585	2,475
信用取引貸付金	2,347	2,424
信用取引借証券担保金	238	51
差入保証金	351	351
未収入金	709	902
未収収益	102	75
その他	146	177
流動資産合計	22,149	23,838
固定資産		
有形固定資産	297	392
無形固定資産	116	138
投資その他の資産		
投資有価証券	521	534
長期差入保証金	191	191
その他	293	282
貸倒引当金	△177	△177
投資その他の資産合計	828	830
固定資産合計	1,243	1,361
資産合計	23,392	25,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	6	48
信用取引負債	1,686	914
信用取引借入金	1,276	729
信用取引貸証券受入金	409	185
有価証券担保借入金	70	147
預り金	12,455	15,423
受入保証金	673	584
短期借入金	600	100
未払法人税等	-	8
賞与引当金	52	19
未払金	752	875
未払費用	95	71
その他	67	86
流動負債合計	16,460	18,281
固定負債		
退職給付に係る負債	240	248
役員株式給付引当金	161	169
その他	88	108
固定負債合計	489	525
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	24	24
特別法上の準備金合計	24	24
負債合計	16,974	18,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,067	3,067
資本剰余金	1,349	1,349
利益剰余金	1,992	1,943
株主資本合計	6,409	6,360
新株予約権	9	9
純資産合計	6,418	6,369
負債・純資産合計	23,392	25,200

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収益		
受入手数料	585	716
委託手数料	394	488
引受け・売出し・特定投資家向け	0	0
売付け勧誘等の手数料		
募集・売出し・特定投資家向け	108	147
売付け勧誘等の取扱手数料		
その他の受入手数料	82	80
トレーディング損益	2,446	1,627
金融収益	14	11
営業収益計	3,046	2,355
金融費用	8	3
純営業収益	3,038	2,352
販売費・一般管理費	2,851	2,470
取引関係費	1,865	1,560
人件費	691	597
不動産関係費	95	116
事務費	143	137
減価償却費	19	25
租税公課	14	13
その他	21	18
営業利益	186	△117
営業外収益	17	22
営業外費用	3	1
経常利益	201	△97
特別損失	3	0
税金等調整前四半期純利益	197	△97
法人税、住民税及び事業税	△9	△51
法人税等調整額	63	2
法人税等合計	54	△49
当期純利益	142	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	142	△48

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
当期純利益	142	△48
その他の包括利益	-	-
その他の包括利益合計	-	-
包括利益	142	△48
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	142	△48
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、「証券関連事業」という単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日至2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日至2022年6月30日)	
1株当たり純資産額	157円17銭	1株当たり純資産額	161円02銭
1株当たり当期純利益	3円62銭	1株当たり当期純利益	△1円23銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	一銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	一銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度				当連結 会計年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	2021. 4. 1 2021. 6. 30	2021. 7. 1 2021. 9. 30	2021. 10. 1 2021. 12. 31	2022. 1. 1 2022. 3. 31	2022. 4. 1 2022. 6. 30
営業収益					
受入手数料	585	594	704	728	716
トレーディング損益	2,446	2,863	2,505	1,436	1,627
金融収益	14	15	16	13	11
営業収益計	3,046	3,474	3,227	2,178	2,355
金融費用	8	8	5	5	3
純営業収益	3,038	3,466	3,221	2,173	2,352
販売費・一般管理費	2,851	3,250	3,089	2,309	2,470
営業利益	186	215	131	△136	△117
営業外収益	17	11	8	8	22
営業外費用	3	1	7	18	1
経常利益	201	225	133	△145	△97
特別損失	3	-	-	-	0
税金等調整前当期純利益	197	225	133	△145	△97
法人税、住民税及び事業税	△9	78	22	△41	△51
法人税等調整額	63	△7	26	△67	2
法人税等合計	54	71	49	△108	△49
当期純利益	142	154	83	△36	△48
親会社株主に帰属する当期 純利益	142	154	83	△36	△48

(2) 預り資産

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間末 (2021年6月末)		当第1四半期 連結会計期間末 (2022年6月末)		前連結会計年度末 (2022年3月末)	
	実績	前年 同四半期比	実績	前年 同四半期比	実績	前期比
預り資産	321,109	148.1%	379,748	118.3%	378,923	126.2%
うち IFA	132,286	247.3%	192,278	145.3%	183,401	166.9%

(注) 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。